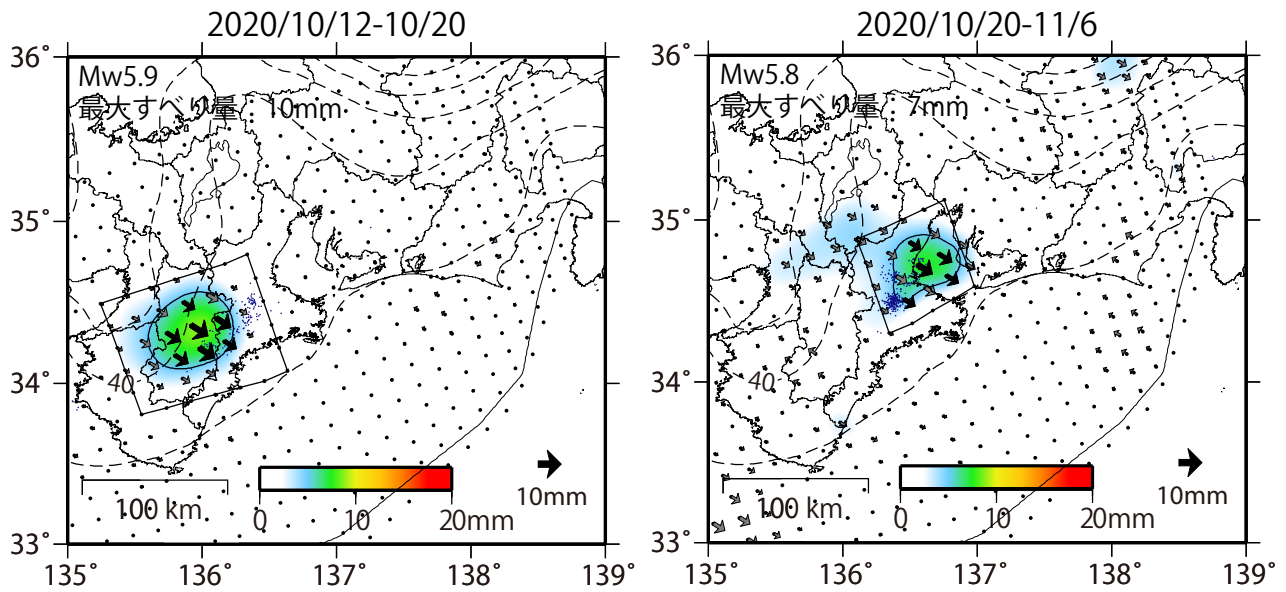


GNSSデータから推定された
紀伊半島北部の深部低周波微動と同期したスロースリップ(暫定)

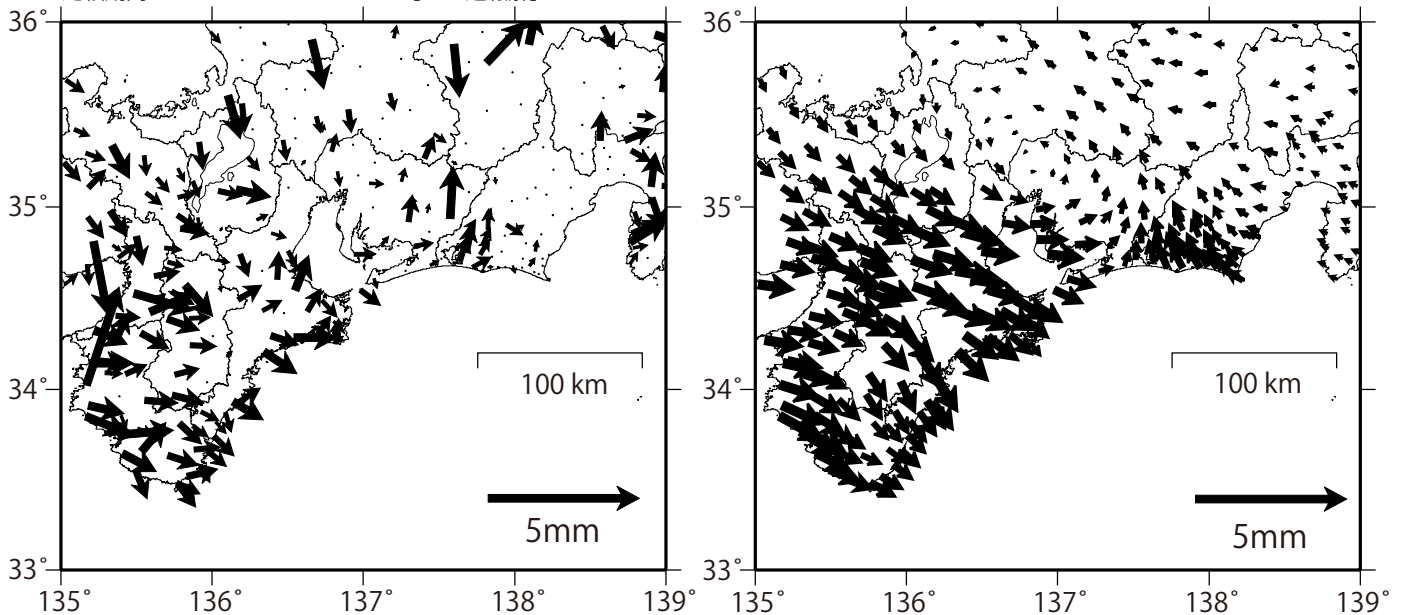


推定したすべり量が標準偏差(σ)の3倍以上のグリッドを黒色表示している。

観測

計算

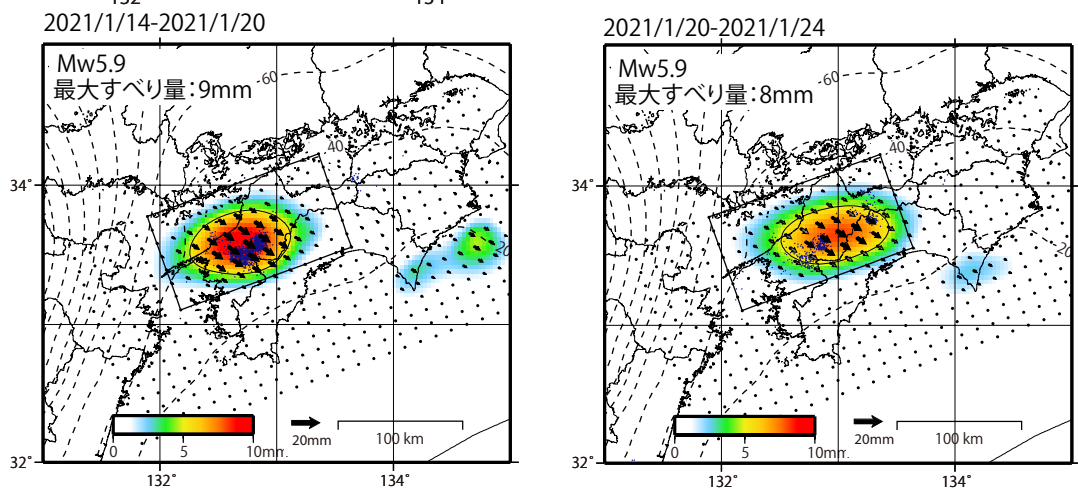
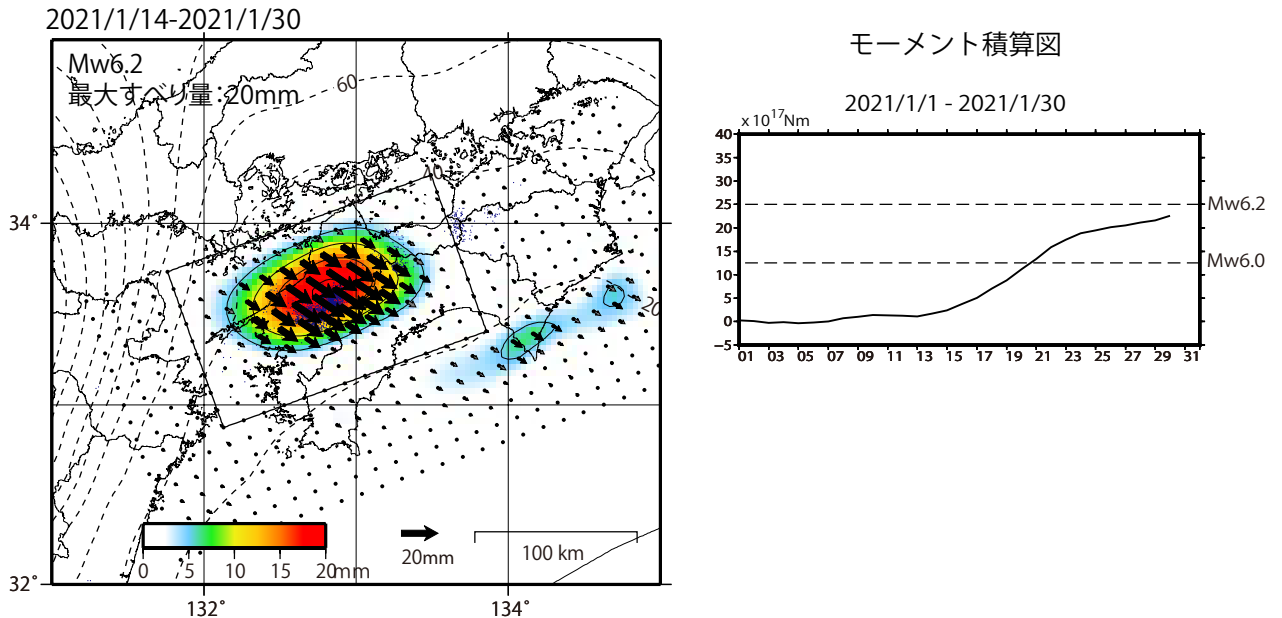
基準期間：2020/09/1～2020/10/14 [F3：最終解]
比較期間：2020/10/24～2020/11/8 [R3：速報解]



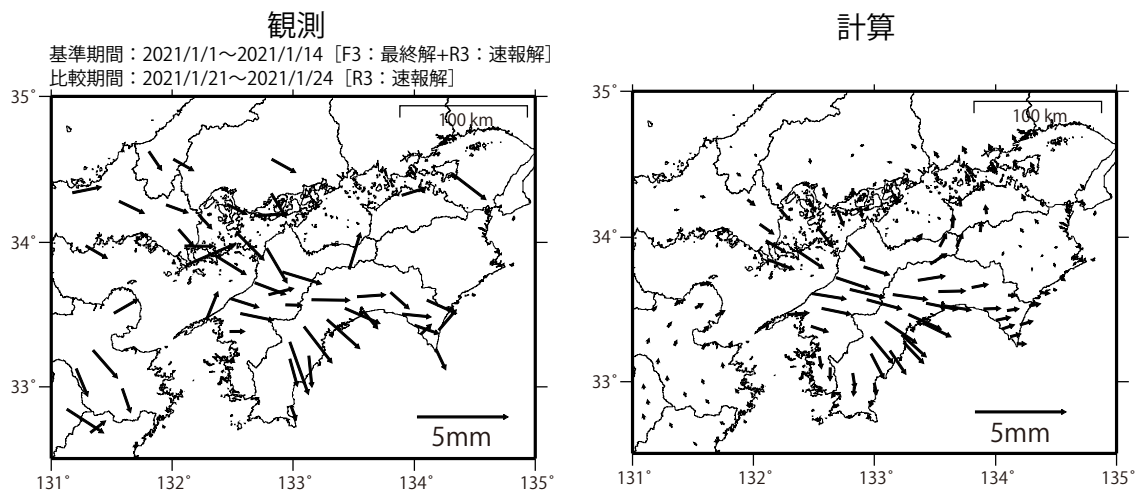
解析に使用した全観測点の座標時系列から、共通に含まれる時間変化成分は取り除いている。
また、基準期間と比較期間の間のオフセットをRamp関数で推定し、東西、南北のAICを合わせたAICで有意でない観測点及び西向き成分を含む観測点は除外している。
2期間の合算の変動を示している。

解析に使用した観測点の範囲：概ね北緯33.4～36°、東経135～139°
使用データ：F3解(2020/9/1 - 2020/10/17)+R3解(2020/10/18 - 2020/11/8)
トレンド期間：2017/1/1 - 2018/1/1 (年周・半年周成分は2017/1/1 - 2020/11/8のデータで補正)
モーメント計算範囲：上段の図の黒枠内側
黒破線：フィリピン海プレート上面の等深線(弘瀬・他, 2007)
すべり方向：プレートの沈み込む方向と平行な方向に拘束
青丸：低周波地震(気象庁一元化震源)
コンター間隔：5mm
固定局：三隅

GNSSデータから推定された 四国西部の深部低周波微動と同期したスロースリップ(暫定)



推定したすべり量が標準偏差(σ)の3倍以上のグリッドを黒色表示している。



解析に使用した全観測点の座標時系列から、共通に含まれる時間変化成分は取り除いている。

また、基準期間と比較期間の間のオフセットをRamp関数で推定し、東西、南北のAICを合わせたAICで有意でない観測点及び西向き成分を含む観測点は除外している。
2期間の合算の変動を示している。

解析に使用した観測点の範囲: 概ね北緯32~34.6°、東経131~134.8°

使用データ: F3解(2020/12/10 - 2021/1/9)+R3解(2021/1/10 - 2021/1/24 (上段の図は -2021/1/30))

※電子基準点の保守等による変動は補正済み

トレンド期間: 2017/1/1 - 2018/1/1 (年周・半年周は 2017/1/1-2021/1/24 (上段の図は -2021/1/30) のデータで補正)

モーメント計算範囲: 図の黒枠内側

黒破線: フィリピン海プレートの上面の等深線(弘瀬・他、2007)

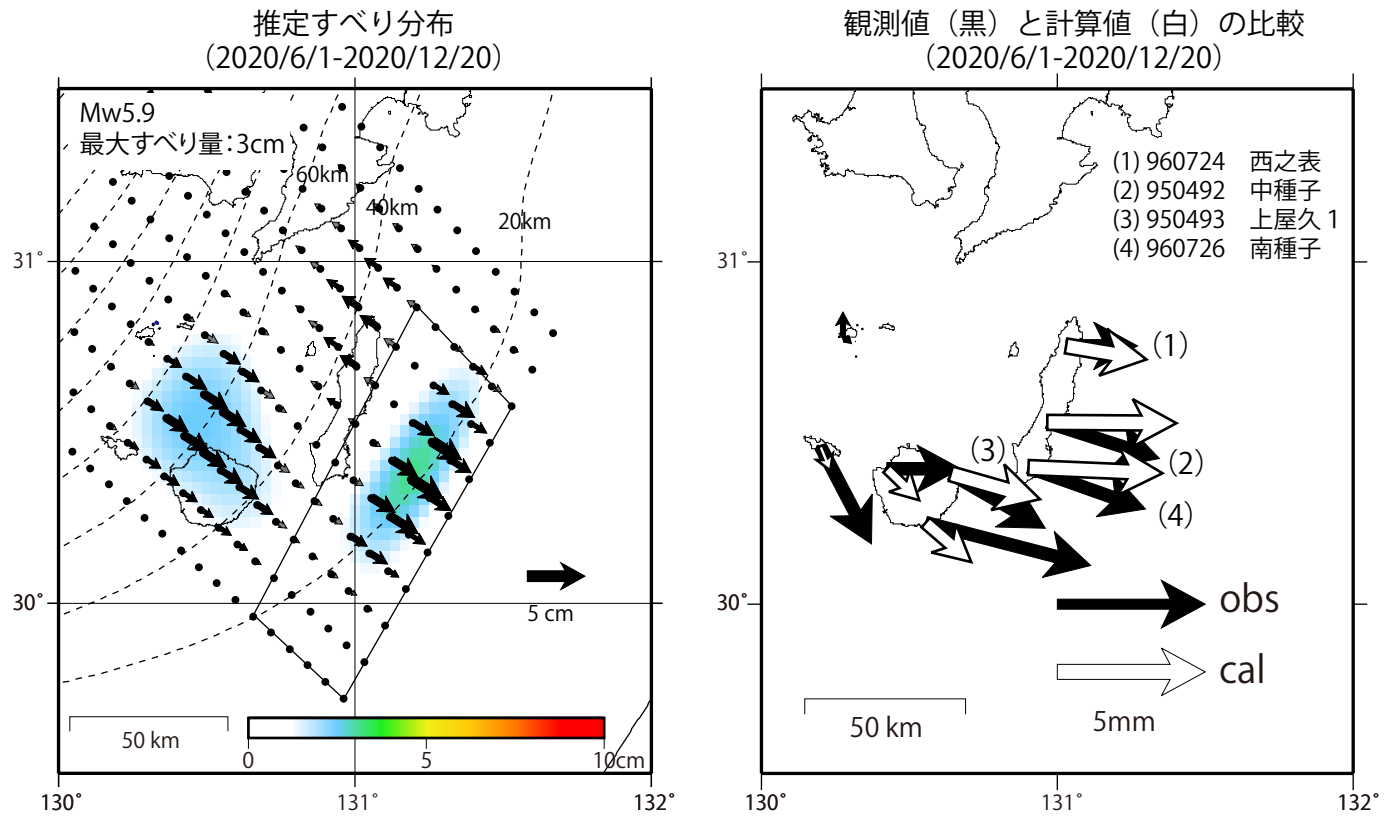
すべり方向: プレートの沈み込み方向と平行な方向に拘束

青丸: 低周波地震 (気象庁一元化震源)

コンター間隔: 5mm

固定局: 三隅

2020年 GNSSデータから推定された種子島周辺の短期的ゆっくりすべり



推定したすべり量が標準偏差 (σ) の3倍以上のグリッドを黒色表示している。

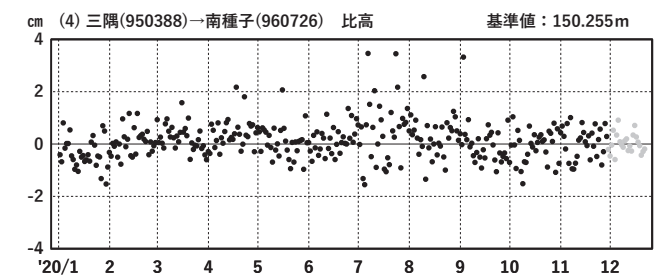
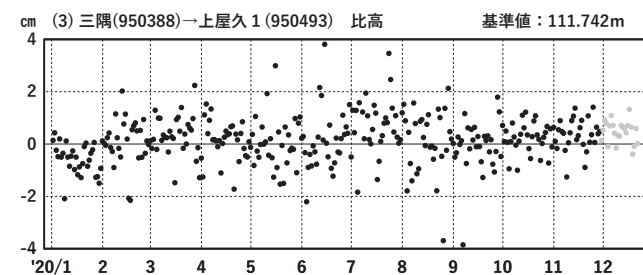
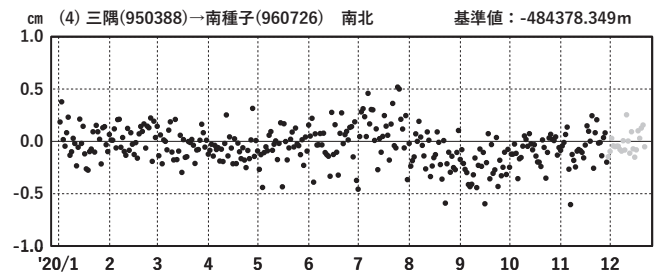
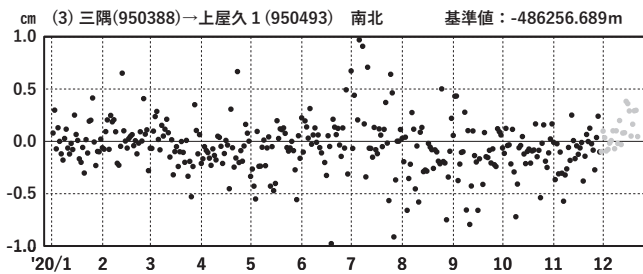
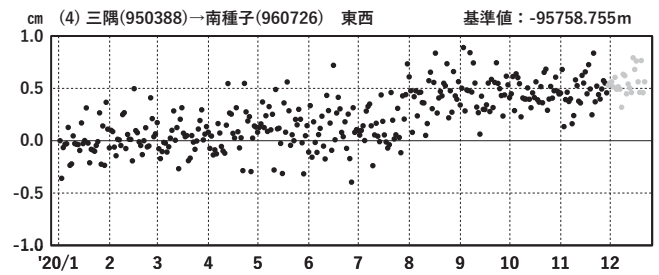
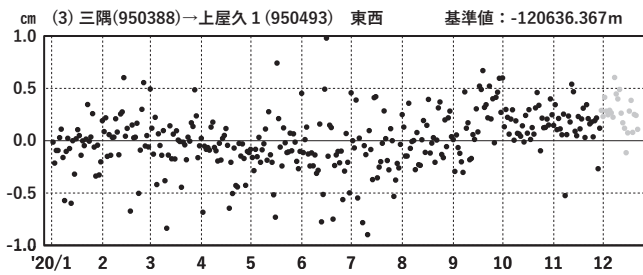
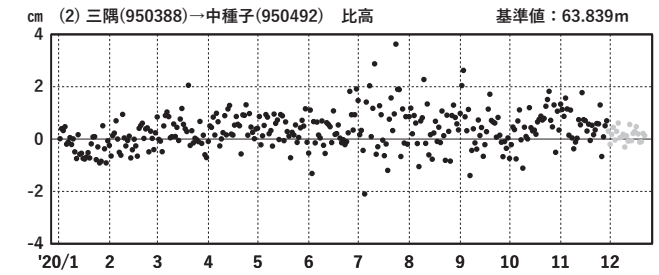
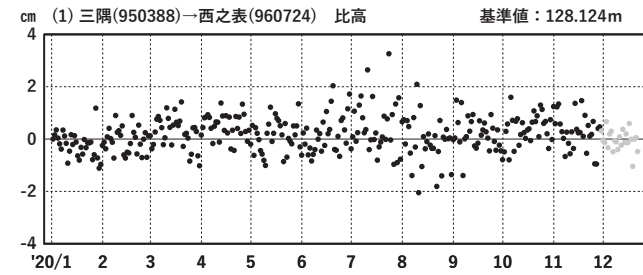
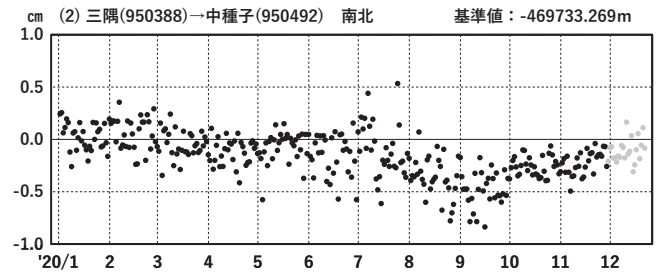
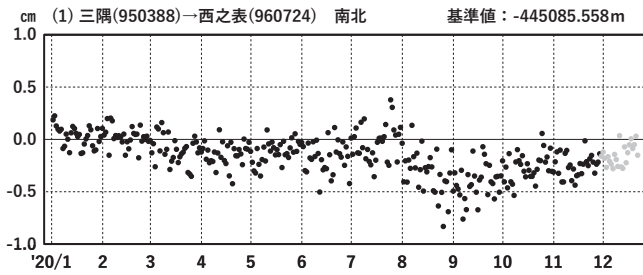
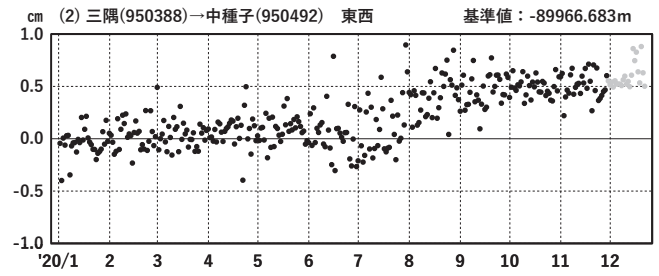
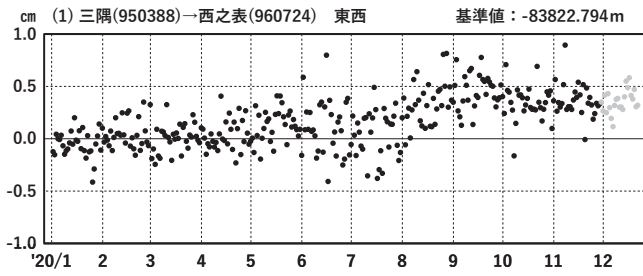
使用データ：F3解 (2020/1/1 - 2020/12/20) ※電子基準点の保守等による変動は補正済み
 トレンド期間：2017/1/1 - 2019/1/1 (年周・半年周成分は2017/1/1 - 2019/1/1のデータで補正)
 モーメント計算範囲：上図の黒枠内側
 黒破線：フィリピン海プレート上面の等深線 (弘瀬・他、2007)
 すべり方向：プレートの沈み込み方向と平行な方向に拘束
 青丸：低周波地震 (気象庁一元化震源) (期間：2019/1/1 - 2019/12/31)
 固定局：三隅

種子島周辺 GNSS 連続観測時系列

1 次トレンド・年周成分・半年周成分除去後グラフ

期間: 2020/01/01~2020/12/21 JST

計算期間: 2017/01/01~2018/01/01



●---[F3:最終解] ●---[R3:速報解]

国土地理院